



あゆみだより

令和8年度第15号
令和8年9月24日発行
沼津市立沼津高等学校・中部部



今年は昨年に比べると9月の気温が低く、雨が多く、秋の訪れを感じる人が多いですね。明日は中秋の名月。本校では、創立80周年記念事業として、かつて伝統行事であった「月見遠足」が一夜限りで復活します。さて、夏は遠い昔ではありますが、「ふだんできないことに挑戦してみよう」を體現した、ふたりの中部部生の貴重な“夏”を紹介します。素晴らしい経験ができましたね。

【中部部】短期留学で、一歩踏み出した2人（インタビュー）

①留学期間 ②目的（なぜ、留学しようと思ったのですか） ③どこへ ④その国を選んだ理由は？ ⑤現地でどのようなことを学びましたか？ ⑥留学してよかったことは何ですか？ ⑦次に挑戦してみたいことは何ですか？

2A
M・Hさん

①8月8日～8月23日 16日間

②教科書で学ぶ英語だけでなく、実際に現地の人と会話をして英語力を向上させたかったからです。また、海外の文化や生活を体験してみたかったからです。

③カナダ（バンクーバー）

④豊かな自然と美しい街並みが魅力的で、環境の整った街で生活してみたいと思ったからです。

⑤語学学校やホームステイ先で積極的にコミュニケーションを取る大切さを学びました。言葉や文化の壁があっても、友だちと協力して解決したり、カナダの有名な場所と一緒に巡るなど、行動することの大切さと自分への自信を得ることができました。

⑥世界中でたくさんの友達と出会うことができました。

一度日本を離れたことで、自分の国を客観的に見られました。

当たり前だと思っていた日本の文化を再発見できました。

世界中に思い出と大切なつながりができて本当に良かったです。

⑦今回の経験を活かして、英検やTOEICなどの資格試験に挑戦し、さらに英語力を高めたいです。また、次はさらに長い期間での長期間留学や、ボランティア活動にも挑戦してみたいです。



2A
A・Yさん

①7月19日～7月24日 4泊6日

②お父さんの会社のイベントで、親から誘われて、行ってみたいという好奇心と、歴史とか文化とかを知る良い機会になると思ったからです。

③タイ（主にバンコク） ④選択肢がなかったです。

⑤日本とは異なる文化やマナーを学びました。例えば日本では汁物を器を持って口をつけて飲みますが、タイではそれが禁止されており、スプーンで飲むのがマナーです。現地の文化を受け入れ、食事の際は特に意識して行動しました。慣れない生活でしたが、良い経験になりました。また歴史面ではアユタヤ遺跡を訪問しました。日本とは全く違う神秘的な空間で、特に木の根に仏像の頭が埋まっている姿には強い衝撃を受けました。過去の戦争で崩れてしまった歴史を知り、現地を見ると、きれいに修復されているところもあれば、未だに壊れたまま残されているところもあり、まさに歴史を物語っていると感じました。ネットや学校の授業だけでは得られない学びができたと思います。

⑥現地の人の温かさに触れ、言葉の壁を越えてコミュニケーションが取れると実感できたことです。現地の人は私たちが日本人だと知ると、日本語で「こんにちは」と挨拶をしてくれました。さらに、タイの学校を訪問した際には大規模に歓迎してもらい、初対面で言語も違う中、ジェスチャーや知っている限りの英語を使って必死に交流しました。その時、お互いの言語が完璧に分からなくても、「話したい」「仲良くなりしたい」という強い意思があれば、心を通わせることができるのだと改めて実感しました。この経験は自分への大きな自信になりました。

⑦今回の滞在で、言語が違っていてもコミュニケーションが取れるという喜びを知ったので、次はさらに行ったことのない国を訪れて、たくさんの国の人たちとコミュニケーションを取ることに挑戦したいです。また、日本の文化とは一味違うような、海外ならではの多様な文化やマナー、新しい価値観にももっとたくさん触れてみたいと考えています。

